

平成30年度利用実態・市民意識調査の調査項目について（案）

（平成26年度利用実態・市民意識調査の調査項目との対比）

調査項目	OD調査		利用者アンケート		市民アンケート		前回までの会議より提案された評価項目	調査目的	平成30年度の新規項目	
	調査員が利用者の乗降場所や目視による個人属性などを調査		調査員が調査票を配布し、その場もしくは後日郵送にて回収		住民基本台帳から抽出した3,000人の市民に郵送にて調査票を配布					
	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度				
① 個人属性	性別	○	○	○	○	○	・利用者数 ・バス停までの所要時間（距離）	・平成30年度では60歳代以上の年代区分を詳細に質問する予定 （ex.こども、学生、大人、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上） ・最寄バス停までの所要時間		
	年代	おとな・学生・こども ○	おとな・学生・こども・未就学児 ○	○	○	○			○	C
	職業	—	—	○	○	○			○	
	居住地	—	—	○	○	○			○	
	（日常的な利用者・来訪者）	—	—			—			—	
	最寄り駅	—	—	○	○	○			○	
	普段の利用駅	—	—	○	○	○			○	
	最寄りバス停	—	—	○	○	○			○	
利用者数（未就学児童数含む）	未就学児除く ○	○	—	○	—	—		A C D		
② 利用実態の把握	支払方法	ICカード 現金、回数券 ○	ICカード 現金、回数券 ○	—	—	—	—	・利用者数/km ・時間帯別利用の把握 ・乗車回数/一人あたり ・目的地 ・バス停までの交通手段 ・乗継手段や状況 ・交通結節点 ・バス停間の距離から、一人平均乗車キロの算出可能	・はなバスの利用実態と、目的地が合っているかを把握	
	利用頻度（平休）	—	—	○	○	○	○			
	乗車・降車時刻（平休） （所要時間分析）	○	○	○	○	○	○			
	バス停間OD（平休） （乗車バス停・降車バス停）	○	○	○	○	○	○			
	利用目的（平休）	—	—	○	○	○	○			

調査項目		OD調査		利用者アンケート		市民アンケート		前回までの会議より提案された評価項目	調査目的	平成30年度の新規項目
		調査員が利用者の乗降場所や目視による個人属性などを調査		調査員が調査票を配布し、その場もしくは後日郵送にて回収		住民基本台帳から抽出した3,000人の市民に郵送にて調査票を配布				
		平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度			
② 利用実態の把握	行き先・目的地	—	—	—	○	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数/km ・時間帯別利用の把握 ・乗車回数/一人あたり ・目的地 ・バス停までの交通手段 ・乗継手段や状況 ・交通結節点 ・バス停間の距離から、一人平均乗車キロの算出可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・はなバスの利用実態と、目的地が合っているかを把握 	A C D
	はなバス利用前後の移動手段	—	—	○	○	○	○			
	代替手段	—	—	○	○	—	○			A D
	乗車頻度（回/日）	—	—	—	○	—	○			A C D
	乗り切れなかった人数（時間別）	○	○	—	—	—	—			
③はなバスの認知度		/	/	—	—	○	○			
④はなバスの満足度				—	○	—	○			A D
⑤ はなバス非利用者	非利用の理由	/	/	/	/	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・はなバス非利用者の特性 	
	普段の利用手段					○	○			
	はなバス利用の条件					○	○			
⑥ 運行補助	運行補助認知度	/	/	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・運行補助に関する評価、あり方 ・路線バスとの運賃格差 	
	運行補助の評価			○	○	○	○			
	補助・利用者負担のあり方			—	—	○	○			
	路線バスとの運賃格差の評価			○	○	○	○			
	所要時間調査			調査員により実施	—	—	—			—
⑦ よる変化に見直しに	前後の利用変化	/	/	—	○	—	○		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は運賃に関する調査 ・平成30年度はルートに関する調査 	A
	利用回数増減理由			—	○	—	○			A
	利便性の評価			—	○	—	○			A
	非利用代替手段			—	○	—	○			A

調査項目		OD調査		利用者アンケート		市民アンケート		前回までの会議より提案された評価項目	調査目的	平成30年度の新規項目
		調査員が利用者の乗降場所や目視による個人属性などを調査		調査員が調査票を配布し、その場もしくは後日郵送にて回収		住民基本台帳から抽出した3,000人の市民に郵送にて調査票を配布				
		平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度	平成26年度	平成30年度			
⑧ は な バ ス の 運 行 評 価	運行経路	/	/	○	○	○	○	・便数や所要時間の適性についての評価	・ルート、運行時刻、所要時間、待ち時間に関する評価 ・外出機会のきっかけや将来利用する可能性 ・小学生車内放送に対する評価 ・情報発信の評価	
	バス停位置			○	○	○	○			
	運行本数			○	○	○	○			
	始発・終発時刻			○	○	○	○			
	定時性			○	○	○	○			
	遅延時の時刻			○	○	○	○			
	許容可能な乗車（所要）時間	—	○	—	○					
	バス停での許容可能な待ち時間	—	○	—	○					
	外出機会	—	○	—	○					
	将来の利用意向（頻度）	—	○	—	○					
小学生車内放送の評価	○	○	○	○						
情報発信の方法・評価	—	○	—	○						
⑨ 希 望 ・ 要 望	希望経由地	/	/	○	○	○	○			
	希望経路の利用目的			○	○	○	○			
	希望経路の利用時間帯			○	○	○	○			
	希望経路の利用頻度			○	○	○	○			